

殿

# 骨材試験報告書

平成 年 月 日

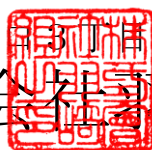
工事名 \_\_\_\_\_

工事場所 \_\_\_\_\_

製品名 \_\_\_\_\_

福井市志比 2番14号

株式会社 福羽崎組



# 材料試験結果報告書

品 種 5号碎石(S-20)

平成 30 年 4 月

製造業者 株式会社 羽崎組

共同企業体 嶺北アスコン



試験者 田中 浩



# 材料試験成績報告書

材 料 種 別 : 5号碎石(S-20)

製 造 場 所 :

製 造 業 者 : (株)羽崎組

項 目	品質基準	試験値	判 定
ふるい分け試験 (JIS A 1102)	別紙の通り	別紙の通り	合 格
表 乾 密 度 (JIS A 1109)	---	2.652 t/m <sup>3</sup>	合 格
絶 乾 密 度 (JIS A 1109)	2.5以上	2.614 t/m <sup>3</sup>	合 格
吸 水 率 (JIS A 1109)	3.0以下	1.46 %	合 格
骨材の微粒分量試験 (JIS A 1103)	※1	0.07 %	合 格
粘 土 塊 量 (JIS A 1137)	0.25以下	0.10 %	合 格
密度1.95の液体に浮く粒子	0.5以下	0.0 %	合 格
安 定 性 (JIS A 1122)	12.0以下	3.6 %	合 格
単 位 容 積 重 量 (JIS A 1104)	---	1.579 t/m <sup>3</sup>	—
す り 減 り 減 量		14.4 %	合 格
粒 径 判 定 実 績 率	56以上	60.4 %	合 格

※1 骨材の微粒分量試験 : 碎石 3.0%以下(ただし、粒形判定実績率が58%以上の場合は5.0%以下)

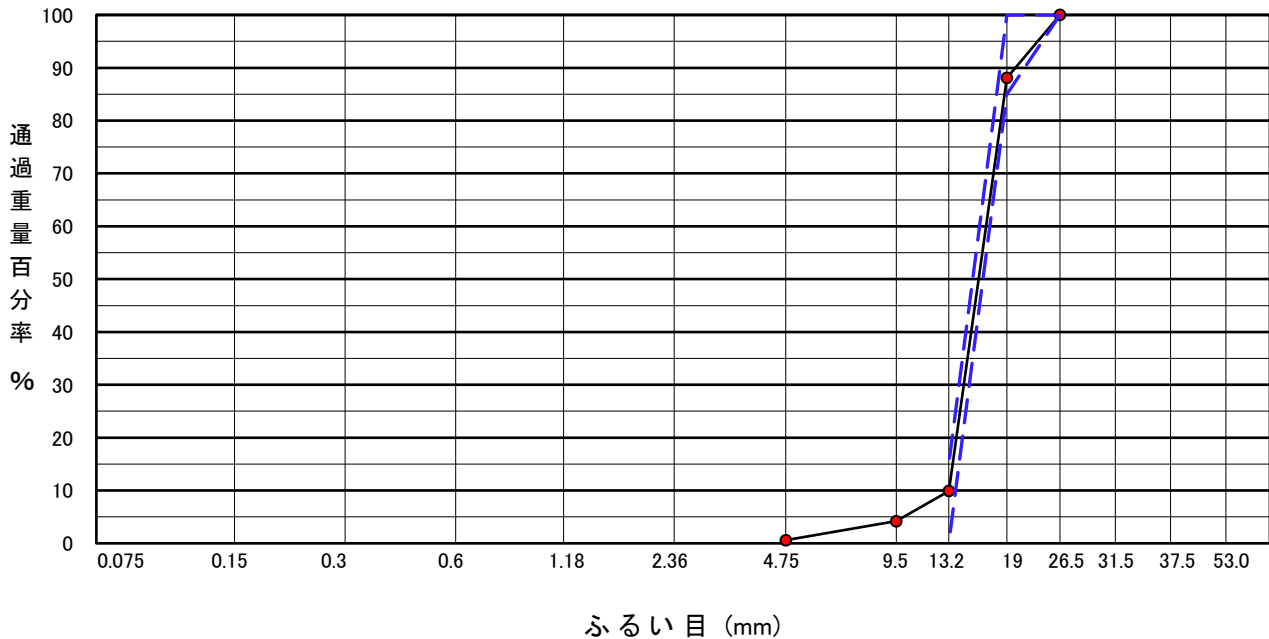
JIS A 1102

## 骨材ふるい分け試験

調査件名 材料試験  
種別 5号砕石  
採取場所 (株)羽崎組

試験年月日 平成 30 年 2 月 26 日  
試験場所 共同企業体 嶺北アスコン  
試験者 田中 浩

乾燥試料重量 (g)	1			2			平均
	4,752.2			4,879.1			
ふるい目の開き (mm)	残留試料重量 (g)	残留率 (%)	通過重量百分率 (%)	残留試料重量 (g)	残留率 (%)	通過重量百分率 (%)	通過重量百分率 (%)
75.0							
53.0							
37.5							
26.5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
19.0	556.0	11.7	88.3	595.3	12.2	87.8	88.1
13.2	4,272.2	89.9	10.1	4,405.8	90.3	9.7	9.9
9.5	4,538.4	95.5	4.5	4,688.8	96.1	3.9	4.2
4.75	4,718.9	99.3	0.7	4,859.6	99.6	0.4	0.6
2.36							
1.18							
0.60							
0.30							
0.15							
0.075							



JIS A 1110

## 粗骨材の密度および吸水率試験

用 途 材料試験  
種 別 5号碎石  
採 取 場 所 (株)羽崎組

試験年月日 平成 30 年 2 月 27 日  
試験場所 共同企業体 嶺北アスコン  
試験者 田中 浩

骨材の最大寸法 19 mm試験時の水温 20 °C

測 定 番 号	1	2	3	4
① 表乾試料+容器質量 (g)	3,301.5	3,088.3		
② 容 器 質 量 (g)	603.5	559.2		
③ 表 乾 試 料 質 量 (g)	①-②	2,698.0	2,529.1	
④ (かご+試料)水中質量 (g)	2,097.8	1,991.1		
⑤ か ご の 水 中 質 量 (g)	416.4	416.4		
⑥ 試 料 の 水 中 質 量 (g)	④-⑤	1,681.4	1,574.7	
⑦ 表 乾 密 度 (g/cm <sup>3</sup> )	$\frac{③}{③-⑥}$	2.654	2.650	
平 均 値	2.652			
⑧ 乾 燥 後 の 試 料 質 量 (g)	2,659.1	2,492.9		
⑨ か さ 密 度 (g/cm <sup>3</sup> )	$\frac{⑧}{③-⑥}$	2.616	2.612	
平 均 値	2.614			
⑩ 見 掛 密 度 (g/cm <sup>3</sup> )	$\frac{⑧}{⑧-⑥}$	2.720	2.715	
平 均 値	2.718			
⑪ 吸 水 率 (%)	$\frac{③-⑧}{⑧} \times 100$	1.46	1.45	
平 均 値	1.46			

備 考

精度： 平均値との差は、密度試験の場合 0.01以下  
吸水率の場合 0.03%以下でなければならない

JIS A 1103

## 骨材の微粒分量試験

調査件名 材料試験

試験年月日 平成 30 年 2 月 27 日

試料名 5号砕石

試験場所 共同企業体 嶺北アスコン

採取場所 (株)羽崎組

試験者 田中 浩

測定番号	5 号 砕 石			
	1	2		
① 水洗い前の試料乾燥重量 g	5,064.6	5,027.1		
② 水洗い後の試料乾燥重量 g	5,062.1	5,022.6		
③ 流出した試料重量 ①-② g	2.5	4.5		
④ 洗いで失われる量 $\frac{\text{③}}{\text{①}} \times 100$ %	0.05	0.09		
⑤ 平均 値 %	0.07			
⑥ 平均 値 か ら の 差 %	0.02			
判 定	合格			

備 考

平均値からの差が、細骨材の場合は 0.3 % 以下、粗骨材の場合は 0.2 % 以下でなければならない。

JIS A 1137

## 骨材中に含まれる粘土塊量の試験

調査件名 材料試験

試験年月日 平成 30 年 2 月 27 日

試料名 5号砕石

試験場所 共同企業体 嶺北アスコン

採取場所 (株)羽崎組

試験者 田中 浩

測定番号	5 号 砕 石			
	1	2	1	2
① 試験前の試料の乾燥重量 g	1,509.7	1,553.5		
② 試験後の試料の乾燥重量 g	1,507.9	1,552.2		
③ 損失重量 ①-② g	1.8	1.3		
④ 粘土塊量 $\frac{\text{③}}{\text{①}} \times 100 \%$	0.12	0.08		
⑤ 平均値 %	0.10			
⑥ 平均値からの差 %	0.02			
判定	合格			

## 備考

試験は2回行い、その精度は平均値からの差が 0.2%以下でなければならない。

骨材中の密度1.95g/cm<sup>3</sup>の液体に浮く粒子の試験

調査件名 材料試験  
 試料名 5号砕石  
 採取場所 (株)羽崎組

試験年月日 平成30年2月28日  
 試験場所 共同企業体 嶺北アスコン  
 試験者 田中 浩

測定番号	5号砕石			
	1	2		
① 5mm以上の試料乾燥質量 g	3,882.1	4,008.6		
② こし網にとどまった粒子の乾燥質量 g	0.0	0.0		
③ 軽い粒子の質量分率 $\frac{②}{①} \times 100$ %	0.0	0.0		
④ 平均値 %	0.00			
⑤ 判定	合格			

測定番号				
① 0.6mm以上の試料乾燥質量 g				
② こし網にとどまった粒子の乾燥質量 g				
③ 軽い粒子の質量分率 $\frac{②}{①} \times 100$ %				
④ 平均値 %				
⑤ 判定				

備考

規格値： 0.5%以下



JIS A 1122		骨材の安定性試験						
調査件名		材料試験		試験年月日		平成30年3月1日		
種別		5号碎石		試験場所		共同企業体 嶺北アスコン		
採取場所		(株)羽崎組		試験者		田中 浩		
試験用溶液の種類		試験用溶液の比重		繰返し回数		溶液の温度		
硫酸ナトリウム		1.171		5 回		20 °C		
試料種別	通るふるい	留まるふるい	各群の試料百分率 (%)	試験前の各群の試料重量 (g)	試験後の各群の試料重量 (g)	各群の損失重量百分率 (%)	骨材の損失重量百分率 (%)	
	5号碎石	31.5	26.5					
		26.5	19	11.9	1,047.5	1,013.0	3.3	0.4
		19	13.2	78.2	755.0	726.8	3.7	2.9
		13.2	9.5	5.7	503.2	484.1	3.8	0.2
		9.5	4.75	3.6			3.8	0.1
		4.75	2.36	0.6			3.8	0.0
	合計		100.0	骨材の損失質量百分率 (%) Σ			3.6	
	合計			骨材の損失質量百分率 (%) Σ				
	20mmより大きい粒径の試験前個数		—	破壊状況				
	試験後異常の認められた個数		—					
	20mmより大きい粒径の試験前個数		—	破壊状況				
	試験後異常の認められた個数		—					
備考								
<p>試料調整： 代表的なものを探取し、四分法又は試料分取器によって所定重量をはかり取り 5mm以下の粗骨材を取り除く 各群の百分率を求め、5%以上になった群だけについて試験を行う 5%に満たない群のものについてはその群の前後における値の平均値又は存在する方の値をもってその群の値とする</p>								

JIS A 1121		ロサンゼルス試験機による粗骨材のすり減り試験						
調査件名	材料試験	試験年月日	平成 30 年 3 月 2 日					
種別	5号碎石	試験場所	前田道路(株)淀合材工場					
試料産地及び岩質	(株)羽崎組	試験者	田中 浩					
試験条件	最大寸法	粒度区分	鋼球の数	回転速度	鋼球の質量	回転数	室温	湿度
	19 mm	B	11 個	32 rpm	4581 g	500 回	-	-
ふるい分け試験				試験前の試料重量 (%)				
各群の粒径		各群の重量百分率 (%)						
53 ~ 37.5								
37.5 ~ 31.5								
31.5 ~ 26.5								
26.5 ~ 19								
19 ~ 13.2								
13.2 ~ 4.75								
4.75 ~ 2.36								
① 合計					5,000		5,000	
② 1.7 mmふるいに残った試料の乾燥重量					4,293		4,271	
③ すり減り損失質量 (①-②)					707		729	
④ すり減り減量 (③/①×100)					14.1		14.6	
⑤ すり減り減量平均値					14.4			
備考								

JIS A 1104

## 骨材の単位容積質量および実積率試験

調査件名 材料試験  
種別 5号碎石  
採取場所 (株)羽崎組

試験年月日 平成30年2月26日  
試験場所 共同企業体 嶺北アスコン  
試験者 田中浩

試験日の状態  
室温 - °C  
湿度 - %  
水温 - °C

試験の詰め方 棒突き方

測定番号	5号碎石			
	1	2		
① 容器の容積	10.000	10.000		
② (試料+容器)質量	19.753	19.808		
③ 容器の質量	3.990	3.990		
④ 試料質量	②-③	15.763	15.818	
⑤ 単位容積質量	④÷①	1.576	1.582	
⑥ 平均値	1.579			
⑦ 絶乾密度	2.614			
⑧ 粒径判定実績率	⑥/⑦×100	60.4		

特記事項